

・今月の表紙

7月14日、女性部松山支部は松山地区にある農産加工所にて笹巻講習を行いました。

松山支部の女性部員は農産加工所を有効活用すべく、精力的に催しを行っています。

詳しくは11ページの「きらりかがやけ!女性部」をご覧ください。



特集

庄内砂丘メロン特集

これからの日本人にとって『よい食』とは何かを、みんなで一緒に考えて、行動していく運動です。



耕そう、大地と地域の未来。

持続可能な地域農業のために

農政対策推進協議会総会

当JAは6月30日、農政対策推進協議会の総会をJA本所で開催しました。2024年度の活動報告および収支決算の承認や2025年度の活動計画、役員および委員の選任など、全4議案が原案通り承認されました。

今年度は全国のJAグループ共通の目標とともに、本県独自に目指す地域農業の姿を実現すべく、「災害に強く再生産可能な農業の実現」と、「農業を支える担い手づくり・人づくり」等を最優先の取り組み実践方策として設定しました。

また、JAの仲間づくりと地域社会の活性化に向け、県民理解・共感の醸成として国消国産をキーメッセージとした広報の強化、JA自体の組織基盤拡大や強化方針を推進し「組織を支える人づくり・仲間づくり」として運動を展開していきます。

田村久義組合長は昨今の日本農業を取り巻く情勢の変化や管内での自然災害について言及し、「今後も関係

団体と連携を図りながら柔軟に対応していく」と述べました。



▲議案承認のために挙手をする生産者ら

「ロールプレイング」で学ぶ実践的な技術指導

穂肥現地指導実践研修会

当JAは7月1日、管内の「つや姫」「雪若丸」「はえぬき」の水田4か所でロールプレイング形式での穂肥現地指導実践研修会を行いました。

同研修会は若手営農指導員の育成と、今年度の稲の



▲様々な圃場状態を学べる貴重な研修会でした

状態と気象経過の把握、また管内産米における「品質」「収量」「食味」のすべてを追求した技術指導を実践するために指導技術の「統一化」を図る目的で毎年行われており、今年は約20人が参加しました。

今回は講師役として遊佐支店営農課の佐藤史音指導員、酒田ひがし支店営農課の富樫奏太指導員が選ばれ、圃場の状態（草丈、茎数、葉令、葉色など）を現地調査し、出穂時期の推測や穂肥対応、当面の管理などについて生産者役を務める指導員らに説明。その後生産者目線での質疑応答も行われ、講師役、生産者役ともに実践的な経験値を高めました。

協力者として参加した酒田農業技術普及課の阿部洋平専門普及指導員は「2人とも調査がスムーズで、分析も判断も素晴らしかった。信頼できる指導員が圃場で直接調査してくれることが、生産者にとって一番安心でき、かつ間違いの無いことだと思う」と話しました。

庄内平野と施設ツアーをリモート体験!

03

青年部による「WEB授業」

青年部は、毎年5月に首都圏の小学校へ稲作授業に使用する「教材用苗」の発送と、6月中旬に直接学校に訪問して授業を行う「上京運動」に取り組んでいます。6月19日から27日の期間中には、リモートで行う米づくり授業「WEB授業」を行いました。

同授業は、上京運動で訪問できなかった学校や、質問が多く訪問時に答えきれなかった学校が対象で、カントリーエレベーターや圃場、農機格納庫などをパソ

コンのカメラで映しながら説明して回りました。座学では見ることのできない施設内部や庄内平野の雄大さが、画面越しでも伝わり驚きの反応を見せていました。

質問コーナーでは「カントリーエレベーターでは何種類のお米が扱われているの?」「無人ヘリはトラクターと一緒に格納庫じゃないの?」など、リモート映像で見た光景から生まれた質問も多く、WEB授業だからこそその学びを得ていました。



▲「これが庄内平野!?ひろーい!」



▲コンバインの操縦席からの視点をリモート体験!



▲元気いっぱいの子供たちに思わず笑みがこぼれます

普及拡大・収量増に期待

04

イチゴ新品種「山形S7号」栽培研修会

6月13日、庄内総合支庁産業経済部農業技術普及課産地研究室にて、今年度より一般栽培が始まっている県育成の新品種四季成り性イチゴ「山形S7号」の栽培技術の紹介や普及拡大を目的とした栽培研修会が開かれました。



▲圃場を視察する参加者



イチゴ新品種「山形S7号」▶

同品種は、同研究室育成品種である四季成り性イチゴ「サマーティアラ」を母として育成。11年の歳月をかけて開発し、令和5年10月に品種登録されました。果実の形や色が良く、味はすっきりとした酸味と甘みの特徴です。また、6月から11月にかけて収穫する事ができ、暑さに強く収量増加にも期待できます。現在、作付面積は庄内地域を中心に計49㍍、生産者は14人となっています。

研修会では、栽培試験圃場を視察し、現在行っている養液管理や花房数・着果数管理、株間などの試験内容や、ハウスの高温対策について説明しました。また、座学研修では、品種特性や栽培するうえでの管理の仕方や留意点のほか、収量が「サマーティアラ」と比較し10㍍換算で1.1㍍増加した試験結果などが説明されました。

県農林水産部園芸大国推進課の石山新治課長補佐は、「収量が増えれば、所得の増加も見込める。生産者の方々の経営の支えとなるような品種に育ってほしい」と話しました。

高品質なパプリカを届けるために

パプリカ出荷目ぞろえ会

05

JA庄内みどり遊佐畑作部会パプリカ専門部は7月9日、当JA遊佐園芸センターでパプリカの出荷目ぞろえ会を開きました。生産者やJA職員ら15人が参加し、等級付けの選果基準、収穫・出荷方法などについて注意点を確認。基準や意識の統一を図りました。

佐藤勇人専門部長は「アブラムシの被害に注意し、防除を徹底するように」と呼びかけ、品質維持のため、栽培管理の徹底を促しました。

管内では35人が約3.9畧で栽培。生活クラブ生協、関東市場などを中心に出荷する予定で、7月4日から出荷が始まり12月ごろまで続く見込みです。



▲サンプルで選果基準を確認する生産者ら

出荷ピークに向けて品質統一図る

小菊出荷目ぞろえ会

06



▲積極的にJA職員へ出荷に向けて質問をしていました



▲出荷前の小菊

JA庄内みどり花き部会切り花専門部小菊班は7月25日、本楯地区にて出荷目ぞろえ会を開きました。生産者や庄内総合支庁酒田農業技術普及課、JAの担当者など11人が参加し、出荷規格や品質管理、箱詰めの方法などを確認しました。

今年度は春先に降水量が多く、低温や日照不足により生育に遅れが生じました。6月以降は一転、降水量が少なく気温も高い状態が続いており、例年よりも出荷が5日程遅れています。

切り花専門部長の飯塚卓矢さんは「雨が降らないなどの異常気象の中でも高品質なものを出荷出来るよう努めていきたい」と話していました。

管内では9名の生産者が2.0畧で生産し、お盆向けをメインに北海道や関東、東北の市場へ年間で約23万本の出荷を見込んでいます。

生活クラブ組合員が庄内来訪 交流と連携を深める

生活クラブ庄内交流会

07

生活クラブ連合会と当JAは7月21日から23日にかけて、酒田市や遊佐町で生活クラブ庄内交流会を開催しました。首都圏を中心に70人の生活クラブ組合員が参加し、共同購入で提携している生産者の圃場や、平田牧場の生産物加工工場などを視察。生産現場の現状や課題を理解し、より一層の連携強化を図る目的で行われており、今年で52回目となります。

22日には遊佐町共同開発米部会の阿部健五副会長の圃場を訪問。今年度産米の生育状況や試験的に導入している肥料の施用状況などの説明を受け、質疑応答の時間には水管理や除草、虫害などに関して積極的に質問、確認することで農作物への理解を深めていました。

当JAは2013年、生活クラブ連合会、遊佐町とともに「地域農業と日本の食料を守り、持続可能な社会と地域を発展させる共同宣言」を締結し、継続して連携を図っています。



▲熱心にメモを取り説明を聞く生協組合員ら

毎年恒例、最新農機の祭典

サマーフェア2025

当JA経済事業部門と(株)みどりサービスが合同で行う展示会「サマーフェア」が、7月16日に北部農機センターで、18日、19日にみどり農機センターで開催されました。秋の繁忙期に向け、組合員に快適な農作業を行っていただくため毎年この時期に開かれており、会場には3日間で計956人が来場しました。

今回はJA全農山形や農機メーカー、ディーラーなど約30社が参加し、会場に並べられた新品・中古を含む農業機械や自動車などを実際に見て触れてもらいながら説明。快晴のもと、来場者は職員の説明に熱心に耳を傾けていました。

経済部農業機械課の阿部英晴課長は「大勢の皆様から来場いただき、改めて農機・自動車に対する関心の高さを実感することができた。今後も展示会を通じ情報発信に努めたい」と話しました。

そのほか、みどりサービスで取り扱うガス器具やマルノー山形の食品販売、コストコフェアやキッチンカー販売なども行われ、農機の商談だけでなく「楽しめるイベント」として賑わいを見せていました。



▲各メーカー自慢の農機がぎっしり集まっていました

08

長年のご愛顧に感謝を込めて

ファイナルジュエリーフェア開催



▲展示されているジュエリーなどに皆さん目を輝かせていました

7月25日、26日にJA本所にて「感謝を込めて ファイナルジュエリーフェア」が開かれ、2日間で140人の来場者が訪れるなど大盛況となりました。

同フェアは、ジュエリーやスーツ、バッグ、時計などの展示、販売の他に買取やジュエリーの洗浄、サイズ直しなどのサービスを長年続けてきた人気の展示会でしたが、惜しまれながらも今回が最後の開催となりました。

経済部の奥山司次長は「たくさんの方にご来場いただき、心より感謝しています。今回で展示会は終了となりますが、ご購入いただいた商品のアフターサービスは今後も引き続き対応しますので、どうぞ安心ください」と話しました。

09

人生100年時代に備えた資産運用を学ぶ

資産運用セミナー開催

7月3日、JA本所にて資産運用セミナーが開かれ、資産運用に興味のある約30人が参加しました。

今回のセミナーは「人生100年時代に備えた資産運用」をテーマに長寿社会となった日本の平均寿命や、日々変化している世界情勢や物価高騰などタイムリーな話題を織り交ぜながら「資産と健康の寿命をのばす」ことや資産運用の基本などについて学びました。

講師を務めた大和アセットマネジメント株式会社の鈴木裕子さんは「人生100年時代になりつつあることから、この先まだまだ長いのでさまざまなことにチャレンジして欲しい。また、今回のセミナーを通して皆さんの資産の寿命をのばせるきっかけや後押しになれば嬉しい」と話しました。



▲資産運用についてしっかり学びました

10

メロンの特集

甘い！

実が！

解け水の地下水が豊富で、昼夜の寒暖差が大きい環境はメロンに合った7月の管内イベントをピックアップしてご紹介します！



7/1 赤肉メロン目ぞろえ会

7月1日、酒田みなみ園芸センターにて赤肉メロンの出荷規格目ぞろえ会が行われました。目ぞろえ会ではJA職員と生産者を含めた約20人が参加し、用意された等級別の実物のメロンで形状やネット張りなどの出荷規格について説明しました。

説明後、参加者たちは等級別に用意されたメロンを手に取り、真剣なまなざしで確認。出荷時の注意点や等級のより詳細な基準などについてさまざまな質問が出され、出荷規格と品質の統一を図りました。また、生産者同士で現在の生育や出荷状況を共有していました。

7/11 酒田市役所でメロンマルシェ

当JAとJAそでうらは7月11日、酒田市役所で酒田市主催のメロンの試食販売イベント「メロンマルシェ」を開きました。当JAは青肉「アンデス」と赤肉「ルピアレッド」の2品種を販売。入り口前特設テントの設営途中から、市役所内に向かう人の足が止まり始め、その混雑状況から販売開始時刻を前倒しするほどの盛況ぶりでした。同イベントは、7月6日の「庄内砂丘メロンの日」前後に庄内砂丘メロンをPRするために開かれているもので、今年で4回目となります。



試食も用意！



7/13 7/20 山居館メロンフェア

7月13日と20日、山居館前の特設会場でメロンフェアが開催されました。両日ともに日曜日開催ということで、地元客だけでなく観光客も多く来店し賑わいを見せました。山居館からそのまま発送手配ができるため、台車に乗り切らないほど購入される方もおり、売り場にぎっしり用意されていたメロン箱の山があっという間になくなっていました。そのほか、冷水に浮かべたミニトマトのつかみ取りコーナーも用意され、大人も子供も旬の生産物に目を輝かせていました。

庄内砂丘

日本海沿いに約35kmの長さを誇る庄内砂丘。水はけがよく、雪をおいしく育みます。今回は庄内の特産品「庄内砂丘メロン」づく

7月
月上旬

県外販売会&海外向けライブコマース

当JAでは県外に向けた庄内砂丘メロンのPRを積極的に行っており、7月上旬に澤光青果（横浜）や阪神百貨店（大阪）などの県外店舗にて試食販売会の開催や青果イベント・フェアへの出店を行いました。一部品種が即日完売になるなど売れ行きも好調でした。また、7月12日には台湾に向けたライブコマース（インターネット生配信で販売する手法）も行い、リアルタイムで多くの注文を受けるなど、国内はもちろん海外からも注目を浴び、確かな評価を受けました。



好呷！
（おいしい！）

7月
月下旬

子ども食堂へメロン提供

JA庄内みどり農政対策推進協議会は、7月中旬から下旬にかけ、子どもの居場所づくりに日々取り組む地域の子ども食堂などに庄内砂丘メロン「アンデス」、JAグループ山形オリジナルの「ランチョンマット」を提供しました。

17日は遊佐町白ゆり会運営の「ゆうゆう食堂」、18日には酒田市母子福祉ねむの木会運営の「酒田市子ども食堂」と酒田市本慶寺運営の「つるかめ食堂」、25日に六た茶屋運営の「六た子ども食堂」へ、そして30日に酒田調理師専門学校が運営する「酒調こども食堂」に訪問し直接手渡しました。

同協議会による子ども食堂へのメロン提供は今年で5回目。遊佐町白ゆり会の菅原弘美会長は「旬の果物を提供していただけることをありがたく思う。地元のおいしいものを安心して食べることができるありがたさ、食の大事さを子どもに伝えながら食べさせたい」と話しました。



ゆうゆう食堂



つるかめ食堂



六た子ども食堂



酒田市子ども食堂



酒調こども食堂

大好き！
メロン



Bloom（ブルーム）の取材を受けました！

6月27日、高橋平さん（写真中央）のメロン園場で庄内満喫マガジン「Bloom」の取材が行われました。丹精込めて栽培された極上のメロン。詳しくは8月5日発行のBloomで！



営農掲示板

営農のしおり

キメ細やかな 水管理を 徹底しましょう



平田中央営農課
佐藤 翔

今年は田植え時期の違いによる生育差が見られます。

5月中旬から高温により田ワキが発生したことで生育がやや停滞しましたが、その後生育が回復し、出穂期が早まる傾向になりました。

7月10日時点では、草丈は長く、茎数はやや少なく、葉色は淡い状況となっています。

【出穂期～穂揃期の水管理】

出穂期は、稲が最も水分を必要とする時期になります。湛水管理を徹底しましょう。

【登熟期】

登熟期は、稲体及び根の活力維持のために2湛2落を基本とした間断湛水を行います。特に出穂後20日間は高温による**胴割粒**、**白未熟粒**の発生が懸念されますので、稲体の消耗を抑えるために水交換による地温や水温の低下に努めましょう。

【高温対策】

高温年次は『飽水管理（作溝に水を溜めておくこと）（土中に十分な水分

がある状態』に努め、圃場全体への溜めっぱなしは避けましょう。

台風やフェーン現象による高温・強風が予想される場合は、稲体を保護するために発生前に湛水を始め、終息後には通常の水管理に戻しましょう。

【落水時期】

出穂後30日を目安とし落水を行います。早期落水は登熟不足による品質低下の要因の一つです。

【病害虫防除について】

今年は斑点米カメムシの発生が多い状況です。出穂期になると、畦畔・農道・休耕田等から水田内への飛来が多くなります。

【草刈り休止期間について】

今年の草刈り休止期間の終了日は現在の生育状況や、稲刈りの開始時期が早まるなどの予想などから総合的に判断し、**8月22日と設定させていただきます。（8月23日より草刈可）**

なお、例年カメムシ被害が発生している圃場については、**個別に補完防除を実施ください。**

園芸だより

娃娃菜栽培の ポイントはコレ！

娃娃菜は外葉から芯まで柔らかい手のひらサイズの小さいハクサイです。鍋物のもとより、サラダでもおいしく食べられる人気の高い品種です。播種からの栽培ポイントをご紹介しますので、参考にしてください。

【育苗】

苗づくりは「病気に強く、根張りの良い株」を育てることが大切です。

育苗中は過湿を避け、なおかつ乾燥にも注意します。朝のうちに水やりを行い、夕方以降の水やりは極力避けましょう。定植圃場の土壌pHは6.0～6.5に調整してください。

初期生育が収穫まで影響するため、丁寧な育苗管理を心がけましょう。

【定植】

マルチは「娃娃菜マルチ」を使用することで最適な株間となり、良品の収穫ができるとともに降雨後の泥はねも防止できます。また、娃娃菜は根が弱いので「根こぶ病」の対策を。前作で「根こぶ病」が発生した圃場は特に徹底をお願いします。

湛水は生育不揃いが出ないよう、灌水チューブ等を使用して均一に行ってください。



酒田園芸センター
森田 瑞樹

収穫遅れを防ぐ方法として、段植え（播き）をお勧めします。一度に収穫出来る量を把握した上で2段階または3段階に分けて定植（播き）を行う事により収穫期間を延ばして、集中しないようにします。10日から15日間隔がお勧めです。

【生育期～収穫】

高温や多湿による病害虫の発生が懸念されます。薬剤による防除が重要となります。特にアブラムシ・コナガの防除は徹底しましょう。また「寒冷紗」を設置し、害虫の侵入を防ぐのも効果的です。「べと病」および緑ぐされ（カルシウム欠乏症）の予防は必ず行ってください。雨が多い時期や風通しの悪い環境で発生しやすいため、排水対策を施するとともに、換気を怠らずに湿気をこもらせない工夫が大切です。収穫10日前からは湛水を控え、乾燥気味の管理を行ってください。

栽培ポイントを押さえて良品作りを心掛けましょう！

夏の食欲不振対策で元気に美しく

夏は暑さや湿度で食欲が落ちやすい季節です。暑くなると食欲不振になり、アイス、ゼリーなど冷たくて喉越しが良いものばかり食べていませんか？ しかし、しっかり食べないと体力が落ちて、夏バテや体調不良の原因になります。今回は、夏の食欲不振対策にお薦めの栄養素などを三つご紹介します。

■ クルクミン

クルクミンは、ウコン（ターメリック）に含まれる黄色の色素成分です。胆汁の分泌を促し、消化機能をサポートする働きもあるため、胃腸が弱りやすい夏場の食欲不振に対して効果が期待できます。また、抗酸化作用もあり、美肌づくりにもお薦めです。ターメリックライスや夏野菜のカレーなど、食欲をそそるメニューでクルクミンを取り入れてみましょう。

■ カリウム

カリウムには、体内の余分な塩分を排出し水分バランスを整える働きがあります。汗とともに失われやすく、不足すると血流や代謝が滞り、むくみや倦怠（けんたい）感を感じたり、食欲が落ちやすくなったりするため、夏は積極的に取りましょう。キュウリ、トマト、スイカなどの水分が多い夏野

菜や果物に多く含まれているため、摂取しやすいのが特長です。トマトとキュウリの塩もみサラダなどにすると、食欲がないときでもカリウムが取れます。

■ 亜鉛

亜鉛は、味覚を正常に保つために欠かせない栄養素です。不足すると味を感じにくくなり、食欲が湧かない原因になります。また、肌や髪健康維持にも深く関わっており、美しい肌や髪を保ちたい方にもお薦めです。カキ、牛肉、納豆、卵などに多く含まれており、納豆卵かけご飯なら料理が苦手な人でも手軽に亜鉛が取れます。

夏の食欲不振は、栄養を少し意識するだけで軽減できることもあります。おいしく食べて、元気に美しく夏を過ごしたいですね。



栄養士・ダイエットコーチ 吉田 理江（よしだりえ）
飲食店勤務後、料理研究家のアシスタントを経て独立。栄養指導、健康・ダイエットレシピの作成やコラム執筆、セミナー講師など幅広く活動中。薬膳アドバイザーやアンチエイジング料理プランナーなどの資格も多数取得。

脳トレ！ 手足の体操

健康生活研究所所長●堤 喜久雄

かぎ指体操で全身運動

指の力を付けるとともに各指を通る血やエネルギーの道とされる経絡（けいらく）を刺激し、体循環を良くする体操です。特に、首や肩に関係の深い経絡・三焦経（さんしょうけい）が通る薬指同士、背中や腰に関係の深い経絡・小腸経などが通る小指同士での体操がお勧めです。

かぎ指体操

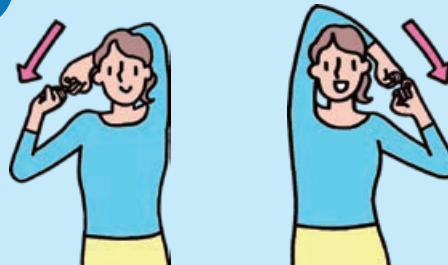


(1) 人さし指同士をかぎのように曲げて指の第1関節同士を組み、左右に6回程度引き合います。指先にしっかり力を入れて、1秒ごとにググッと引き合しましょう。



(2) 中指から小指まで順に、(1)と同様にして引き合います。初めは難しく感じるかもしれませんが無理のない範囲で続けましょう。

応用



(1) 同じ指同士をかぎのように曲げて組み、頭の後ろに持っていきます。右腕に力を入れながら下げて左腕を引っ張り、呼吸に合わせて3回程度左側の腕の裏や脇腹をよく伸ばします。

(2) 同じように、左腕に力を入れながら下げて右腕を引っ張り、右側の腕の裏や脇腹をよく伸ばします。中指から小指まで同じように繰り返します。

くらしと福祉



当JAが運営している福祉施設の名前にも用いられている「結い」とは、小さな集落や地域単位における共同作業の制度のことを言います。地域に暮らす住民がみんなで助け合い、協力し合う相互扶助の精神で日々の暮らしが成り立っていく。JA庄内みどりの福祉事業は、そんな心の通い合う運営を目指しています。

結いマルシェ開催

7月12日、遊佐地区にある多機能ハウス結いにて「結いマルシェ」が開かれました。同マルシェは、今回が初めての開催で多機能ハウス結いをもっと知ってもらいたいという思いと地域との交流を図り、気軽に立ち寄れる場所になってほしいという思いから企画されました。

開催にあたり、遊佐町にゆかりがある方々に協力を頂き、焼きそばやハンドメイド作品、スイーツやコッペパンなどを出店、販売をしました。当日は地域住民の方々や、利用者の家族など約40人が来場しました。また、出店の他にもシニアカーの展示・試乗体験や施設の中で脳トレクイズや輪投げなどのゲームコーナー、防災道具・防災食の展示や実演、職員による介護相談を行いました。

同施設管理者の粕谷祐子さんは、「マルシェを開いてみて地域の方々の協力に感謝と地域のつながりが本当に大切だと実感しました。結いマルシェは今年だけでなく来年、再来年以降も続けていきたいと思います」と話しました。



流しそうめんで和気あいあい！

7月14日、福祉課はデイサービス結い・なかひらたで「流しそうめん」を行いました。

同施設では、利用者が日常生活や季節の移り変わりを体感し、かつ楽しめるようなイベントを毎月開催しています。そうめんが流れ始めると、利用者は逃すまいと真剣なまなざしで追いかけて、器用にキャッチ！笑顔や歓声が絶えない、にぎやかなイベントになりました。

8月には、中平田コミュニティセンターそば愛好会の方からのご厚意で「そば振舞い」が行われる予定です。





女性部まつり

祝 初開催！！



JA庄内みどり女性部は7月16日、本所で「女性部まつり」を開催しました。本イベントは今年度より催されたイベントで、各地域の女性部員や協賛企業、JA職員らが出店する全15店舗が並び、多くの来場客で賑わいました。

集まった商品は食品、衣類、アクセサリや生活用品など多岐にわたり、来場客はしきりに足を止め、試食をしたり、実際に手に取ったりして商品の詳しい説明を受けていました。

来場客に話を伺うと「広報誌で開催を知った。いろんな人が集って行かう催しは楽しい」「少し覗くだけのつもりだったが、結局たくさん買ってしまった」と笑顔で感想を語りました。

女性部の阿波由紀部長は「初めての企画で心配だったが、皆様の協力のおかげで素晴らしい催しになった。組合員がつくる農作物やJAの事業・商品などをより知っていただきたい機会になったし、女性部員同士の交流にもつながった。投じた一石から広がる波紋のように、いいもの・ことが輪になって広がっていくきっかけづくりができて嬉しい」と、関係者・来場者に改めて感謝の気持ちを述べました。



▲開会の挨拶をする阿波部長。売り場を縦横無尽に移動し呼び込んでいました ▲広報担当の購入品。取材を忘れて楽しんでしまいました…

聴いて、歌って、体を動かして健康に！ 女性部ゴールドレディ全体研修会

女性部ゴールドレディは7月9日、酒田みなみ支店にて全体研修会を開き61人が参加しました。歌手でボイストレーナーでもある佐藤良子さんを招き、ポップスや演歌、民謡やジャズなどいろいろなジャンルの曲を披露しました。また、歌声を聴くだけでなく、佐藤さん考案の曲に合わせた頭や体の運動も行いました。最後には、佐藤さん指導のもと中島みゆきさんの「糸」を部員全員で合唱し、いきいきとした表情で歌っていました。

佐藤さんに今回の研修会について話を聞くと「皆さんとても楽しそうに聴き、歌ってくれてこちらも楽しく公演を行う事が出来た。各地で「介護予防歌謡教室」としてこのような公演を行っているのこれから続けていきたい」と話しました。



◀公演を行う佐藤良子さん

▲旗の色に合わせて指定されたポーズをとります

郷土料理を継承するために 女性部松山支部 笹巻講習

女性部松山支部は7月14日、松山地区にある農産加工所にて笹巻講習を行いました。班長を主に部員12人が参加し「三角巻き」と「竹の子巻き」を作りました。笹の巻き方の難しさに悪戦苦闘しながらも楽しみながら取り組んでいました。

また、同講習会に庄内総合支庁酒田農業技術普及課の職員も参加。需要はあるにも関わらず笹巻の製造や販売をする方が減少している現状や農産加工所で製造・販売する際の注意すべきポイントなど、郷土料理である「笹巻」のこれからにむけての対応策などを話し合いました。

支部長の佐藤玲子さんは「この活動は笹巻などの郷土料理の継承と農産加工所の有効利用の為に企画した。笹巻の需要はあるのに作れる人がどんどん少なくなっている背景があるのでこの講習を通して普及活動などに繋げていけるよう活動していきたい」と話しました。



▲真剣な表情で笹巻作りに取り組む松山支部の皆さん





飲む柿酢 ぶどう味

125ml



ゴクッとひと口、
スーッとさわやか！

〒999-9701 山形県酒田市砂越字上川原44-1
0120-52-3104 (または0234-52-3100)



山形・庄内の美味しいを食卓に

マルノー山形 公式通販

検索

<https://maruno-yamagata.com>

Instagram: maruno_yamagata

Facebook: マルノー山形



読者からの おたより

近年は猛暑が常態化し、酒田の花火も9月に変更されたように、夜になっても涼しくならないため、夏祭りが少なくなってきているように感じます。なんか季節の風物詩がだんだん消えていくようで寂しい気がします。これからのコメ作りも大変になります。

(上田・菅原さん)

濃い青空の下で風物詩を味わい、うだる暑さに風情を感じたい夏ですが、近年の暑さには風情どころか命の危険を感じます。時期を変え猛暑を避けた「夏祭り」、秋の季語になる日も近い？

(本間)

庄内メロンのおいしい時期になりました。
(東京都・カノンママさん)

今月号の庄内砂丘メロン特集はいかがでしたでしょうか？メロンに奔走し汗を流した7月でした。4月にJAに入組してはや4ヶ月。勉強の日々ですが、地元や地元の産業を誇るにはまず「知ること」だなあと痛感した特集になりました。(本間)

猛暑のせいか世話の仕方が不十分なせいか、今年もトマトは早々に枯れてきました。失敗も楽しもうと思いつつも、やっぱり収穫の楽しみがないのは残念です。来年はトマトはやめようかと思っていたところに、近所の方から真っ赤なトマトをいただきました。ほおばりながら我が家の畑を思い浮かべ、来年は対策を立てながらまた挑戦しようと考えている私でした。(本橋・今野さん)

プチトマトと思って買った苗がトマトだったようでどんどん大きくなりびっくり！自分で育てた野菜は格別の味です。(遊佐・あんこだまさん)

トマトの旬の季節となりましたね！私も家でプチトマトを育てています。そのまま食べてもおいしいですが、最近はトマトキムチを作って食べることにハマっています。ピリッと酸味のあるトマトキムチは暑い夏にピッタリなのでぜひ皆さんお試しください！(小松)

昨年7月下旬は大雨が降りましたが、今年は全く降らず農作物の出来が心配です。

(八幡・小野さん)

毎年のように異常な天候が続いていますよね。今年はムシムシと暑いだけでなく、梅雨の印象が無いほど雨があまり降っていないように思います。農作物の無事を祈るばかりですが、自分自身も暑さに負けないように対策していかないといいけませんね。(小松)

クロスワードパズル

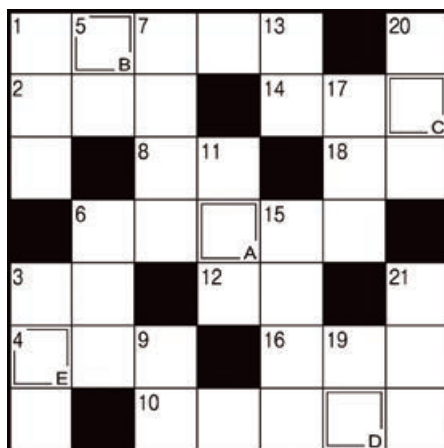
二重マスの文字を A～E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

【タテのカギ】

- ①国際博覧会（万博）には——各国が
出展します
- ③朝顔に——とられてもらひ水（千代女）
- ⑤官の対義語
- ⑥合格を目指して受けることも
- ⑦二十四節気のひとつ。令和7年は8月
23日です
- ⑨悪夢を食べるといわれる想像上の動物
- ⑪旧国名のひとつ。今の滋賀県あたり
- ⑬人が並んで作るもの
- ⑮コイン——に荷物を入れた
- ⑰紙幣のすかしは——防止策のひとつです
- ⑲魚などの内臓のこと
- ⑳あぶく。ソーダ水からたくさん出ます
- ㉑半透明でプルプルした洋菓子

【ヨコのカギ】

- ①ミーンミン、シャワシャワ、カナカ
ナカナ……
- ②物事にかかわりを持つこと
- ③代金は今度まとめて払うね
- ④西田 佐知子のヒット曲、『コー
ヒー——』
- ⑥さだまさしの名曲『——流し』で
歌われているのは、長崎県などで
するお盆の行事
- ⑧スイカにかけられる人もいます
- ⑩2分の1がハーフなら4分の1は
- ⑫チョウが吸うもの
- ⑭台木にくっつけたり挟んだりして
育てます
- ⑯もう一杯、お——！
- ⑰鼻の長い動物



正解者の中から抽選で5名様に
「飲む柿酢濃縮タイプ2本セット」
をプレゼント！

【締切】8月21日（木）当日消印有効

【応募方法】下記5問をご回答ください

- ①答え ②今月号で良かった記事 ③今後あったらいいと思う記事
- ④来月号の「読者からのおたより」掲載用にひとこと
- ※季節の話題、日常の話題、今月号の話題などなんでもOK！
- ⑤お届け先情報（郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号）

【あて先】〒998-8510 JA庄内みどり 広報クイズ係 行
※e-mailでの応募は
kouhou@ja.midorinet.or.jp まで



ペンネーム
（6文字以内）での
応募ができるように
なりました！
フルネームでの氏名記入は
必須になります。

お送りいただいた個人情報は当誌の編集以外には使用しません

（7月号答え）
ネガイゴト



【当選者発表】

S・Nさん（東平田） その名を冠した
パーキング
エリアも
O・Tさん（西荒瀬）
遊佐のバンドマンさん（藤岡）
K・Tさん（北海道）

ヒント！

家族で楽しむ
おいしい一皿

レシピ提供 ● 料理研究家 和田麻紀子

子どもも喜ぶ 夏の元気をサポートするお手軽メニュー

食感も楽しいスタミナレシピ

オクラの豚肉巻き



材料（4人分）

オクラ…8本
豚肩ロース薄切り
（しゃぶしゃぶ用など）…100g
塩・こしょう…少々
片栗粉…少々

A

しょうゆ…大さじ1
みりん…大さじ1
酒…大さじ1 砂糖…小さじ1
油…小さじ1 青ジソ…適宜
ミョウガ…適宜

作り方

- ①オクラはがくを取り除き、豚肉を端からクルクルと巻き付けて軽く塩・こしょうを振り、味がよく絡むように片栗粉を薄く付ける。Aを混ぜ合わせておく。
- ②油を引いたフライパンを強火にかけ、①のオクラと豚肉をこんがりとした色が付くまで転がしながら焼く。
- ③豚肉に火が通り、焼き色が付いたらAを入れて絡める。お好みで食べやすい大きさに切り、千切りにした青ジソとミョウガを添える。

アレンジ

厚めに肉を巻いて
ボリュームに

ポイント！

オクラはビタミンなどが豊富な上に、加熱しても栄養素が壊れにくい優秀な野菜です。大人は薬味を添えて味の変化を付けても楽しめます。

家の光

IE no HIKARI

「食と農」「暮らし」「協同」「家族」を柱に
「人生100年時代」の元気づくりを応援していきます!



100
「家の光」創刊100周年

読者に寄り添い
より身近で活用しやすく



お申し込みはお近くのJAへ

誌名	2025年 8月号までの定価(税込)		9月号からの 新定価(税込) ※毎号統一価格
	普通月号	629円	
家の光 IE no HIKARI	特別月号(1・4・5・7・9月号)	922円	900円
	12月特別号	1,027円	

JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11 TEL 03-3266-9039 <https://www.ienohikari.net/>

庄内地域の産地直売所で買い物をして応募するだけ!

おいしい商品が**43名様**に当たる!

庄内産地直売所

周遊レシートキャンペーン

2025/8/8(金) ▶ 10/13(月)

特賞

3名様
新米10kg

米

産直賞

40名様
おすすめ品セット

山居館も
キャンペーン
参加店です。
ぜひご利用
ください!

参加店など
詳しい内容は
こちらから
ご確認ください



応募
方法

- 異なる参加店 3 店舗分のレシートを集める。
- 参加店にある応募用紙にレシートを貼り、店内に設置された応募箱に投函。
(名前・住所・電話番号の記入を忘れずに)
※キャンペーン期間中のレシートのみ有効です。※応募用紙を1口とし、お一人様何口でも応募可能。
※賞品の発送をもって当選の発表に代えさせていただきます。(10月末~11月中旬頃発送予定)



お問合せ: 庄内直売組織連絡会議(事務局) 庄内総合支庁農業技術普及課 TEL: 0235-64-2103

理事会だより

第4回定例理事会が7月28日、本所で開かれ、下記の議案が承認されました。

附議事項

1. 令和7年6月末事業実績検討
2. 令和6事業年度業務及び財産の状況に関する説明書類（ディスクロージャー誌）の縦覧にかかる対応
3. 令和7年度 延滞案件の処理方針
4. 令和5年産米の本精算

秋季農協座談会

開催期間 9月1日(月)～5日(金)

テーマ

- ①米穀情勢・令和7年産米穀の取り扱い
- ②各部からのお知らせ

水田農業研究所 参観デーのご案内

水田農業研究所では、下記により「参観デー」を開催します。「つや姫」「雪若丸」「雪女神」「ゆきまんてん」等を育成した研究所として、皆様のご来場をお待ちしています。来場プレゼントもあります。

開催日時 令和7年9月6日(土)
午前10時～午後3時

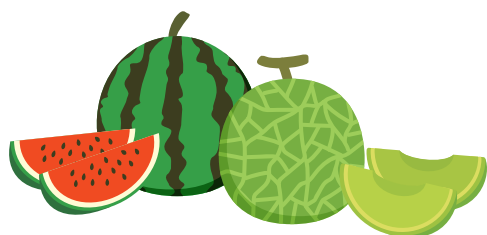
開催場所 農業総合研究センター
水田農業研究所
(鶴岡市藤島字山ノ前25)

内容

- ・研究成果の展示
- ・お米でつくったパンの試食
- ・新品種「ゆきまんてん」等お米品種食べ比べ
- ・所内オリエンタリング
- ・育種クイズに答えて抽選で「つや姫・雪若丸」精米セットプレゼント
- ・来場者に「稲穂で作ったしおり」と「研究所産お米(2合)」をプレゼント
- ・田んぼのいきもの展示

問合せ先

山形県農業総合研究センター
水田農業研究所
担当 高部 真典
TEL 0235-64-2100
FAX 0235-64-2382



Information

お知らせ

お盆休業

JA各農機センターと各資材店舗、(株)みどりサービスの自動車(オートパル)、ガスセンター、燃料配送センター、マルノー山形は下記の期間をお盆休業とさせていただきます。ご不便をおかけしますが、何卒ご了承ください。

施設名	8月9日(土)	8月10日(日)	8月11日(月)	8月12日(火)	8月13日(水)	8月14日(木)	8月15日(金)
中央資材店舗	営業	営業	営業				
遊佐資材店舗	休業	(AM)営業					通常営業
遊佐園芸資材C	(AM)営業						
他5資材店舗			休業	通常営業	お盆休業	お盆休業	
中央配送センター		休業					
各農機センター	休業	休業					
(株)みどりサービス 自動車・ガス・燃料配送センター・ マルノー山形							休業

※給油所(全4店舗)は通常通り営業します。



JA庄内みどり 令和8年度職員募集

●主な職務内容(JA事業全般)

JA事業全般(総合職) 営農販売、購買、信用、共済事業など

●応募資格

- (1)令和8年3月大学・短期大学を卒業見込みの方が、既に大学・短期大学を卒業した昭和61年4月2日以降に生まれた方(満39歳まで)
- (2)令和8年3月高校・専修学校を卒業見込みの方が、既に高校・専修学校を卒業した平成3年4月2日以降に生まれた方(満34歳まで)
- (3)自宅より通勤可能な方

●採用予定人数 7人程度

●応募期間および試験日程 応募資格(1)(2)共通

応募期間: 令和7年7月1日(火)～9月8日(月)

※締切日必着

試験日: 令和7年9月19日(金)

●試験内容

午前: 適正検査 SPI3(能力検査、性格検査)・小論文

午後: 面接試験

●試験会場 当JA本所(酒田市曙町1-1)

●応募書類

下記お問合せ先へご連絡または当JAのホームページ(採用情報)からも確認できます。

●事業所説明会 場所: 当JA本所(酒田市曙町1-1)

参加申込みは事前に希望日など人事教育課までご連絡ください。

●お問合せ 人事教育課 ☎26-5561



★生産者大募集!

現在みどりの里山居館では新規会員を募集中です。

野菜・果物を作って一緒に山居館で販売してみませんか?

※手芸品・工作品の出品也大歓迎です!

●お問い合わせ 山居館 ☎26-6732





2025年

8月・9月は

JAカード
限定



対象のJA直売所でJAカードをご利用いただくと

10%
割引!

ご請求時

〈対象期間〉

2025年8月1日(金)～9月30日(火)

※一部対象外の店舗・施設や商品・サービスがございます。

まだJAカードをお持ちでない方は今すぐご入会!

JAバンク口座をお持ちの方は

WEBから



<https://www.jacard.cr.mufig.jp/ad/tslt/>

JAバンク口座をお持ちでない方は

アプリから

口座開設と同時に
カンタン手続き



<https://www.jabank.jp/ja/appplus/>

お近くのJA店舗で直接
お申し込みいただけます。

店舗で



※アプリでのお申し込みは一部お取扱いをしていないJAがございます。

※JAカードのご入会には別途審査がございます。

JA直売所(JAカード5%割引実施店舗)でJAカードをご利用いただくと、
通常5%割引が、対象期間中はご請求時に**10%割引**となります。

■特典の詳細はこちら

<https://www.cr.mufig.jp/jafarmmarket2025/>



※JAビジネスカード、JAコーポレートカード、JCBブランドのJAカードは本特典の対象外です。

※JAカードでのお支払いが対象です。電子マネーやコード決済等でのお支払いは、JAカードを登録されている場合でも本特典は適用されません。

※本紙記載の情報は2025年4月時点の内容です。特典については予告なく終了や内容の変更を行う場合がございます。

